



414  
A 3692



米國商人ウエリート築地買市場に  
 出店米國商人カと集り口々支那米  
 相場之いゝい各月十の助探案致  
 以て又支那米約定手附金取渡り  
 道と山林止お成以室米相場之いゝ  
 以ておれり尤も米相場之いゝ

大正十一年四月贈

東京通商會士

少由月山林止し依府右を縁及  
 改又らたむる及版し口本運上所  
 ウエリートに中事なるし名を扱  
 書用とて実米を越しは事実米  
 全空米お物にお違ひし保出由  
 一品とも違ひし及那の及事の米  
 一

一石目有事實空米とも実米  
 趣もお成表向叱度少後お成り  
 必も能く成り流るる其位は差  
 扱のありしが在りし  
 中蔵之にお物する家育ウエリート  
 久の少少法もせし事お成り  
 一

米右物山林禁止の意にお場成之  
 たりとる事の以者先下落成得る  
 有の者もふく多るハ半程と成  
 以有自然米價騰貴の意も有り  
 且之を相場と云ふ事ハ以  
 博奕の類にもお由り有山林禁止

お成り也。文化洋を以て意に  
 此れは先外國と實際中も廣く成  
 以て外國と相許るハ義に外國  
 實天の事也。此れは以てお成り  
 お成り外國と云ふ事ハ以て  
 お拍の面也。他は害ハお成り



大にのち後にもさしおぼせし  
 らるる不お成介園人乾お企  
 以差止せしはも公平に成り  
 せお物立らも米價持せし  
 一りしみの端も確論も種  
 ころ下とふ勝敗とねる年  
 以上六花結を

さいふとの松人有しは  
 下落を好し  
 ともよしお信く  
 一りし理津脚  
 高し  
 下と好高し  
 一りし勅  
 一りし有し  
 以のち天然  
 せお物を格  
 介より下  
 りぬは後  
 商成し新  
 能くさ  
 美に母  
 して大坂  
 堂鳩  
 せお物  
 ぬれ

此百年來馳行いりり來りて支り  
 為米價終る致し多し之を乞蒙賜  
 取均一二と云ふ新法道新しきも判  
 禁おれぬもいりて新法乃山損益  
 已まよと云く他へ害もあらぬ故に  
 外國を心ら實に優にあらし

以有別競馬將練に裁し及ひ後  
 之を戒むる唯生體身尙家なる  
 一〜死科と云ふ是れ之を圍  
 禁と為す時を犯れぬと云ふ  
 懐事と云ふは満天下に人情推し  
 他は臨事と欲をさるりの一有る

以上金銀と緒をとりとせざるを以て  
 之は白濁博奕の流を戒むるを以て  
 之は法律に廢業破産の志あり  
 為し有るを以て博奕の流を以て  
 之は法律に廢業破産の志あり  
 之は法律に廢業破産の志あり  
 之は法律に廢業破産の志あり

作出の義舟運來の法を廢絶し  
 別紙之法を設金博奕の筋を以て  
 振設の法を以て然るに商業相推の  
 以て之を以て外國の法を以て之を以て  
 之を以て之を以て之を以て之を以て  
 之を以て之を以て之を以て之を以て



法に不得不倣と云ふは、  
 衡上の書面取物に對し、  
 公平に扱はるべきに依りて、  
 衡上の書面取物に對し、  
 公平に扱はるべきに依りて、

庚午六月

米穀の取引の規則

一 米穀の取引の規則  
 産物の豊凶に因り、  
 依りて、  
 公平に扱はるべきに依りて、  
 公平に扱はるべきに依りて、  
 公平に扱はるべきに依りて、



一 賞方ハ印日賞及品代價トモ割子附  
金トシテ差出云社ハ印額ケル

一 印金取引トシテ金子融居親出及自然

差買トシテお減引自印日太及附金

之トシテ取日ト定引物代合及注簿

トシテ

一 大入由品并及附金ト額ト書付ケ

云社トシテ差出大出付ト注

取ト取引ト取大額ト付ケル

一 肥後米

百石

但七月取日取後約定

石取額ト取付

通商會社

大賞方商社のお渡り事

去年二月に  
米穀商社何組賞  
に後米子石くま川合

一金子あり

但七月のり取渡り事

右お預り事

東京

通商會社

大賞方とわ社のお渡り事

但商人等と大取しに取成り取

しからお渡り事

一期口よりお物くま下と賞方増

と増賞方増石あり取口より取

と以急な渡り事

一賞方と取口近に築地并事務所

を会社内積り事

一 賣買の取立に當り、前日の午後五時迄に  
 限る事

一 賣出の取立に當り、前日の午後十時迄に  
 限る事

一 日之三會の取立に當り、日將限る事

一 賣買の取立に當り、即日限る事

一 通商會社の取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 取立に當り、即日限る事

一 事

一 会社自教科  
く又重可差也事

他前書々条之此、徳及之海  
く改り事

大し條々堅お守心路言也、  
一

一 改り事

庚午  
六月

東京

通商會社

東  
京

文  
南  
會  
社

--	--	--	--	--	--	--

